

夜間総合防火訓練を行いました

避難訓練



1 出火・初期消火

落合病院です！CAPD室から出火しました。消防車の出動を要請します！

防火戸の外へ速やかに避難



2 消防署へ通報



3 避難・搬送



4 消火



5 講評

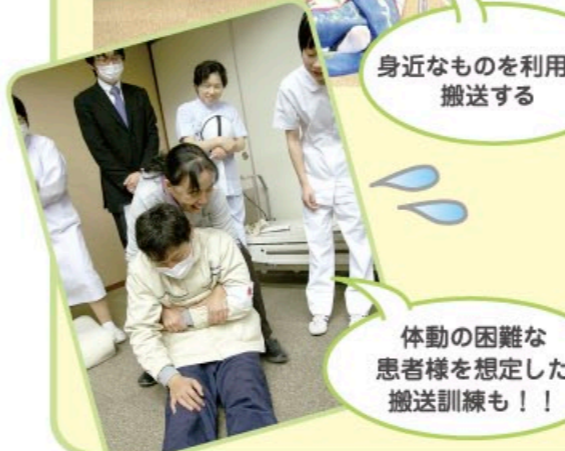
搬送方法講習会



両手を固定して搬送する



身近なものを利用して搬送する



体動の困難な患者様を想定した搬送訓練も！！

落合病院 TOPICS 1

真庭市総合防災訓練に参加しました



昨年11月23日(月)、真庭医療圏の災害拠点病院として、やまびこスタジアム(三坂)で行われた総合防災訓練に参加しました。訓練は、鳥取県中部を震源とする大地震が発生し、市内で住宅等の崩壊、道路、橋梁等にも被害が発生したとの想定で、警察、消防、消防団、医療機関、地域住民、その他関係機関の連携体制の確保、災害対応能力の向上を図ることを目的として行われました。当院からは、医師2名、看護師2名、事務員2名が出動し、搬送される傷病者のトリアージ(治療等の優先順位を決めること)および救急処置、3次救急医療機関への搬送等の訓練を行いました。

TOPICS 3

院内看護研究発表会



昨年11月17日(火)、当院記念ホールにて第20回院内看護研究発表会を開催しました。今回は、「メタボリックシンドローム職員に対する人間ドックアドバイザーの支援の効果」(効果的に退院前担当者会を行う為の問題点の抽出「退院支援スクリーニングシート」の分析と今後の課題)の3席の研究発表があり、昨年同様に新見公立短期大学 小野晴子教授に講評をいただきました。今後の特定保健指導や、退院後の生活支援に役立てていきたいと思っております。

TOPICS 2

県北終末期医療・緩和医療研究会



昨年11月20日(金)、当院記念ホールにて第19回県北終末期医療・緩和医療研究会が開催されました。県北の各施設から医師・看護師をはじめ様々な職種の方が総勢85名参加されました。会の前半に「終末期の医療行為をどこまで行うか」「多様な意思表示をする患者様への対応」「患者様の要望に応えた在宅療養へのアプローチ」(終末期医療のバイタルチェック「一般病棟と緩和ケア病棟との差はあるか?」)というテーマで事例が発表された後、テーマ別にディスカッションを行い、後半にディスカッションの内容が全員の前で発表されました。今年は、予定時間を超過するほどの内容で、実践的な情報や、アドバイスを獲得することができ、とても充実した研究会となりました。

TOPICS 4

ながればしコンサート in 冬



職員有志のコーラスグループ「ながればし」による第18回目のコンサートを、12月5日(土)に開催しました。今回は、沖繩三線とカホンという珍しい打楽器を演奏に加え、「花」や「隣組」など6曲を披露しました。各病棟で、メンバーと一緒に口ずさみ、和やかな笑顔の患者様の姿を見ることができ、メンバー共々楽しいひとときを過ごすことができました。次回は春に予定しています。お楽しみに。

院長あいさつ

院長/味楚 泰明



皆様あけましておめでとうございます。

地域医療を取り巻く環境は大きく変化していますが、落合病院は、地域に密着し安全で質の高い医療を、24時間365日提供しています。本年も病院の特性を生かして、職員一丸となって頑張っていきます。特に、透析室の拡張や、産婦人科検診の充実、療養病棟のレベルアップを目指して準備を進めています。

急性期から在宅に至るまでの亜急性期病院としての役割を果たし、退院後は訪問診療や訪問看護、訪問リハビリに力を注ぎ、また福祉施設との連携も強化していきます。また、「いつでもどんな病気ででも診させていただきます」という姿勢を崩さず、救急外来や各種の専門外来を充実していきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

